

東生会東京支部は、姫路東高の卒業生で東京及び関東近辺に在住する方を会員とする同窓会で東生会の支部組織です。

編集発行 東生会東京支部運営委員会

## 東生会東京支部の皆様へ

—東高・姫路市

東生会の近況—

東生会 会長

山野 俊二（東高16回）

あの悪夢の3月11日の東日本大震災から既にほぼ半年を経過致しましたが、東生会東京支部の皆様におかれましては、その後お変わりございませんでしょうか？ 未だ余震が頻発している昨今ではございますが、謹んで、心よりお見舞い申し上げます。

日頃は石川支部長様をはじめ、東京支部の皆様には我が母校発展の為、何かとご尽力を賜り、誠にありがとうございます。御陰様で母校東高も順調に発展して来ておりますが、先日県教育委員会より学区制についての改革案が出され、従来の姫路・福崎学区が大きく変わろうとしています。今後どのようになるか、同窓会として、その推移に注目したいと思います。

さて学校の近況ですが、放課後学校を訪れるたび百周年記念館や廊下で熱心に学習する生徒の姿を見て、大変うれしく思います。勉強だけではなくスポーツや文化部の方でも県大会に数多く出場するなど、OBとして大変心強く思います。これからも温かく見守って

やってください。

続きまして、さて姫路の近況でございます。姫路城は、平成の大修理でこれから3年間、天守閣が見えないのは残念ですが、「天空の白鷺」と銘打って真近で修理の状況や瓦一つ一つ見える貴重な体験ができます。ぜひ帰郷された際には見ていただきたいと思います。又、5月には11月の全国B1グランプリを控え、関西版のB級グルメがリハーサルを兼ねて行われました。天気が少し悪いにも関わらず、予定の人数を大幅に越す大盛況で大手前広場や三の丸広場は人、人でごった返し、御幸通りも嬉しい悲鳴をあげたそうです。11月の全国大会が大変楽しみです。皆様も久し振りに、「姫路おでん」や「明石焼き」を食べに帰って来られませんか。

最後になりますが、東生会は昭和36年に誕生して以来早いもので、今年で満50年を迎えております。その間、県女OBを含め三万数千名を越す大組織に育ってまいりました。つきましては50周年記念行事を18回総会と合わせて来年11月3日に開催致したいと思っております。詳しくは9月に発行いたします「東生会だより」をご覧ください。

東生会東京支部の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈りし、私の挨拶といたします。

## 「東生会東京支部の集い」開催報告

—平成22年「集い」の開催報告—

昨年の「東京支部の集い」は10月24日（日）に、約150名の方々にご出席いただき学士会館で開催しました。昨年色々趣向を凝らし行事やイベントを行い、まず、「集い」開催日の午前中、「国会議事堂」の見学会を行いました。見学会には約80名の方々に参加されましたが、大変お忙しい中にも関わらず、松本剛明外務大臣（当時外務副大臣）もお見えになり、ご挨拶もいただきました。また、ミニコンサートも行い、宮脇俊郎様（東高36回 ギターリスト）と喜田奈津子様（東高57回 東京芸大音楽科在学中）にご出演をお願いし、宮脇様のギター演奏、喜田様のピアノ演奏と歌をご披露いただき「集い」を大変盛り上げていただきました。

「集い」には、古林・増田両副会長をはじめ東生会の役員、味岡校長先生はじめ教頭先生や校内幹事の先

生、兵庫県と姫路市の東京事務所長、また、東京支部では、姫路西高の白城会東京支部との交流も行っており、白城会東京支部の役員にもご出席いただくなど、大勢の来賓にご出席いただきました。さらに、昨年東京方面の大学に新たに進学した学生を含め、約20名の学生も出席し、同期の方々の交流だけではなく、先輩・後輩の世代を超えた幅広い交流も活発に行われ、昨年の「集い」も、盛大に開催することができました。

